ないことより、今後のさらなる検討を要すると考えられた。

E．結論

1．ADOA の全視野 ERG では、PhNR および OPs の振幅が選択的に減弱していた。

2．OPA1 遺伝子異常を有する ADOA は、網膜神経節細胞のみならず、アマクリン細胞を主体とした網膜内層の機能異常も有していることが電気生理学的に示唆された。

3．OPs と年令の相関から、内網状層付近の機能異常は進行性であることが示唆された。

F．健康危険情報　　なし

G．研究発表

1．論文発表

Miyata K et al: Reduction of Oscillatory Potentials and Photopic Negative Response in Patients with Autosomal Dominant Optic Atrophy with OPA1 Mutations. IOVS in press

2．学会発表

宮田健太郎　他：OPA1 遺伝子異常を有する常染色体優性視神経萎縮の網膜電図所見．第 110 回日本眼科学会、大阪、2006

H．知的財産権の出願・登録状況

1．特許取得　　なし

2．実用新案登録　　なし

3．その他　　なし

I．参考文献

1. Delettre C, Lenaers G, Griffoin JM, et al: Nuclear gene OPA1, encoding a mitochondrial dynamin-related protein, is mutated in dominant optic atrophy. Nat Genet. 26: 207-210,2000.
2. Alexander C, Votruba M, Pesch UE, et al: OPA1, encoding a dynamin-related GTPase, is mutated in autosomal dominant optic atrophy linked to chromosome 3q28. Nat Genet. 26: 211-215, 2000.
3. Holder GE, Votruba M, Carter AC, et al: Electrophysiological findings in dominant optic atrophy (DOA) linking to the OPA1 locus on chromosome 3q 28-qter. Doc Ophthalmol. 95: 217-228, 1998-99.
4. Viswanathan S, Frishman LJ, Robson JG, et al: The photopic negative response of the macaque electroretinogram: Reduction by experimental glaucoma. Invest Ophthalmol Vis Sci 40: 1124-1136, 1999.
5. Heynen H, Wachtmeister L, vanNorren D: Origin of the oscillatory potentials in the primate retina. Vision Res. 25: 1365-1373, 1985.
6. Pesch UE, Fries JE, Bette S, et al: OPA1, the disease gene for autosomal dominant optic atrophy, is specifically expressed in ganglion cells an intrinsic neurons of the retina. Invest Ophthalmol Vis Sci. 45: 4217-4225, 2004.

43. 網膜色素変性の黄斑部局所ERGにおける律動様小波の保存

近藤峰生[1)]、池野谷一輝[1)]、朴　昌華[1)]、加地　秀[1)]、三宅養三[2)]、寺崎浩子[1)]
([1)]名古屋大、[2)]感覚器センター)

研究要旨　今回我々は、網膜色素変性（RP）の黄斑部機能を層別に解析する目的で、RP患者群から黄斑部局所網膜電図（黄斑部局所ERG）を記録し、各成分を正常群と比較した。黄斑部局所ERGは、改良型赤外線眼底カメラを用いて眼底を観察しながら5°、10°、15°の円形スポット刺激を用いて記録した。その結果、RP群の黄斑部局所ERGの各成分の振幅は、正常者と比較してOPs、b波、a波の順に保たれる傾向がみられた。正常群の振幅の平均値に対するRP群の相対振幅は、OPsが67%、b波が46%、a波が39%であり、これら3つの成分間の相対振幅値には有意差（$P<0.05$）がみられた。RP群でOPsが保存されていた正確な機序は不明であるが、網膜内層細胞の広い受容野によるものか、あるいは視細胞変性に対する内層細胞の二次的な代償作用が関与している可能性が考えられた

A．研究目的

網膜色素変性（RP）の全視野刺激による網膜電図(ERG)の成分解析の研究は多いが、黄斑の局所から記録した電気反応（黄斑部局所ERG）における成分解析の報告は非常に少ない。RPの黄斑部の視機能が比較的後期まで残ることを考えると、RPの黄斑部局所ERGの各成分を解析することは本疾患の予後や病態生理を考える上で非常に興味深い。

そこで今回我々は、比較的早期の網膜色素変性（RP）の黄斑部局所網膜電図（黄斑部局所ERG）の全成分（a波、b波、律動様小波（OPs））を解析し、RPの黄斑部の機能変化を調べた。

B．研究方法

矯正視力が1.0以上で、黄斑部局所ERGが検出可能（0.4 μV以上）であった39名のRP患者、および年齢を一致させた30名の正常者を対象とした。

黄斑部局所ERGは、改良型赤外線眼底カメラを用いて眼底を観察しながら5°、10°、15°の円形スポット刺激を用いて記録した。患者群から記録した黄斑部局所ERGの各成分（a波、b波、OPs）の振幅と潜時を正常群のデータと比較した。

（倫理面への配慮）

患者には今回の研究内容を十分に説明した後に同意を得て検査を行なった。

C．研究結果

患者群の黄斑部局所ERGの振幅は、全てのスポットで正常範囲内であるものから、重度に減弱したものまで、大きなばらつきを示した。刺激のスポットサイズが大きくなるにつれ、患者群の振幅の減少の程度が強くなる傾向がみられた。潜時については5°と10°のスポットでは両群で差がみられず、15°のサイズではRP群の潜時の

遅れが有意であった。

また、10° のスポットで記録した黄斑部局所 ERG の各成分の振幅は、OPs、b 波、a 波の順に保たれる傾向がみられた。正常群の振幅の平均値に対する RP 群の相対振幅は、OPs が 67%、b 波が 46%、a 波が 39%であり、これら 3 つの成分間の相対振幅値には有意差（$P<0.05$）がみられた。

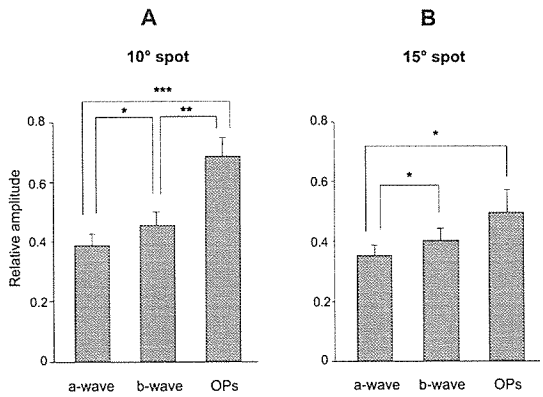


図 1 ：10° と 15° のスポットで刺激した黄斑部局所 ERG の a 波、b 波、OPs の振幅の比較。正常群の平均値を 1.0 として、患者群の各成分の相対振幅を示した。

D．考察

今回の結果は、実際の RP 患者において電気生理学的に、網膜内層の成分が網膜外層の成分より保たれていたという証拠を初めて示すものである。その機序については不明であるが、以下の 2 つの仮説が考えられた。(1)網膜内層細胞の受容野が広いため、視細胞が広範囲に変性しても十分な入力を得て電気反応を生ずることができる（buffering effect）。(2)視細胞変性に対して、二次ニューロン以降のシナプスに二次的な代償機構が働いた（ectopic synaptogenesis）。

E．結論

比較的早期の RP 患者の黄斑では、網膜内層に起源を有する成分が、中層や外層由来の成分より保たれる傾向があることがわかった。RP 患者から黄斑部局所 ERG の各成分を記録することは、RP 患者の病態生理の理解に有用である。

F．健康危険情報　　なし

G．研究発表

1．論文発表

Ikenoya K, Kondo M, Piao CH, Kachi S, Ueno S, Miyake Y, Terasaki H. Preservation of macular oscillatory potentials in eyes with retinitis pigmentosa and normal visual acuity. Invest Ophthalmol Vis Sci. in press.

2．学会発表

Kondo M, Ueno S, Piao CH, Ikenya Y, Terasaki H, Miyake Y. Selective amplitude reduction of photopic negative response after macular hole surgery. 44th International Society of Clinical Electrophysiology of Vision. Fontevraud, France, June 13, 2006.

H．知的財産権の出願・登録状況

1．特許取得　　なし

2．実用新案登録　　なし

3．その他　　なし

I．参考文献

1. Sandberg MA, Effron MH, Berson

EL: Focal cone electroretinograms in dominant retinitis pigmentosa with reduced penetrance. Invest Ophthalmol Vis Sci. 17: 1096-1101, 1978.

2. Falsini B, Iarossi G, Porciatti V, et al. Postreceptoral contribution to macular dysfunction in retinitis pigmentosa. Invest Ophthalmol Vis Sci 35: 4282-4290, 1994.

44. 網膜色素変性における自己免疫の影響

高橋政代[1)]、川越直顕[2)]、万代道子[1)]、秋元正行[3)]
平見恭彦[2)]、大石明生[2)]、吉村長久[2)]
([1)]理化学研究所発生再生科学総合研究センター、[2)]京都大、[3)]兵庫県立尼崎病院)

研究要旨　網膜色素変性は遺伝子変異が原因であるが、一方で、視細胞蛋白に対する自己抗体によって急速に進行する網膜色素変性様所見を呈する自己免疫網膜症の存在が知られている。今回、２００例の典型的網膜色素変性の患者血清中の抗リカバリン抗体を ELISA 法にて検出したところ、加齢黄斑変性１００例ではすべての症例が低値を示したのに対し、網膜色素変性患者では症例よって値が大きく異なり、自己抗体の存在を示唆する高値を呈する症例も多く存在した。自己抗体高値の症例は網膜の色素沈着など明らかな変性範囲に比し、視野の狭窄が進行している症例が多かった。また、ある症例では、急速な視力低下時には抗リカバリン抗体値が高く、安定期には低値を示した。

A．研究目的

Cancer associated retinopathy(CAR)においてはリカバリンなど網膜特異蛋白に対する自己抗体が存在する事が知られている。一方、網膜色素変性においても同様に網膜蛋白に対する自己抗体が検出される症例があることが報告されている。そこで我々は患者血清中のリカバリンに対する自己抗体を測定し、自己抗体と網膜変性との関連を検討した。

B．研究方法

網膜色素変性患者２００例の末梢血を採取し、大腸菌に強制発現したリカバリン蛋白を用いた ELISA 法にて抗リカバリン抗体値を測定した。対照として加齢黄斑変性患者の抗体値も測定し比較した。次に、網膜色素変性症例の中で抗体値の高い（１００以上）グループと低いグループ（２０以下）の眼底所見と視野との関係を比較した。また、経過中に比較的急速な視力低下を認めた一症例の視力低下期と安定期の抗体値を比較した。

C．研究結果

加齢黄斑変性患者の抗体値はばらつきが少なく、抗体値が上昇している患者は認めなかった。一方網膜色素変性患者の自己抗体は症例ごとに値が大きく異なりばらつきが大きかった。

抗体値が高いグループの特徴として検眼鏡的な網膜所見から推測されるよりも動的量的視野が狭窄している症例が多かった。

また、ある症例において急速な視力低下時の抗体値は安定期の抗体値よりも大幅に高かった。

D．考察

加齢黄斑変性では自己抗体は低値であったのに対し網膜色素変性では高値の症例が存

在したことから、遺伝子変異による網膜変性では自己免疫を引き起こしている可能性がある。自己抗体高値の症例で眼底の色素沈着に比し視野狭窄が強いことは網膜変性の進行が早く色素沈着を引きおこす期間を経ていないことを示す。また、視力の低下時には自己抗体が高く、安定期に低い症例の存在から網膜色素変性においてもリカバリンなど網膜特異蛋白に対する自己抗体が産生されている症例が存在し、自己免疫が網膜色素変性の病態を修飾している可能性がある。

E．結論

遺伝性疾患である網膜色素変性では自己免疫が病態を修飾している可能性がある。

F．健康危険情報　　なし

G．研究発表

1．論文発表

Suzuki T, Mandai M, Akimoto M, Yoshimura N, Takahashi M: The simultaneous treatment of MMP-2 stimulants in retinal transplantation enhances grafted cell migration into the host retina. Stem Cells. 24: 2406-11, 2006.

2．学会発表

第４５回網膜硝子体学会　川越直顕、高橋政代、万代道子、秋元正行、平見恭彦、大石明生、吉村長久。「網膜色素変性における自己免疫の影響」

H．知的財産権の出願・登録状況

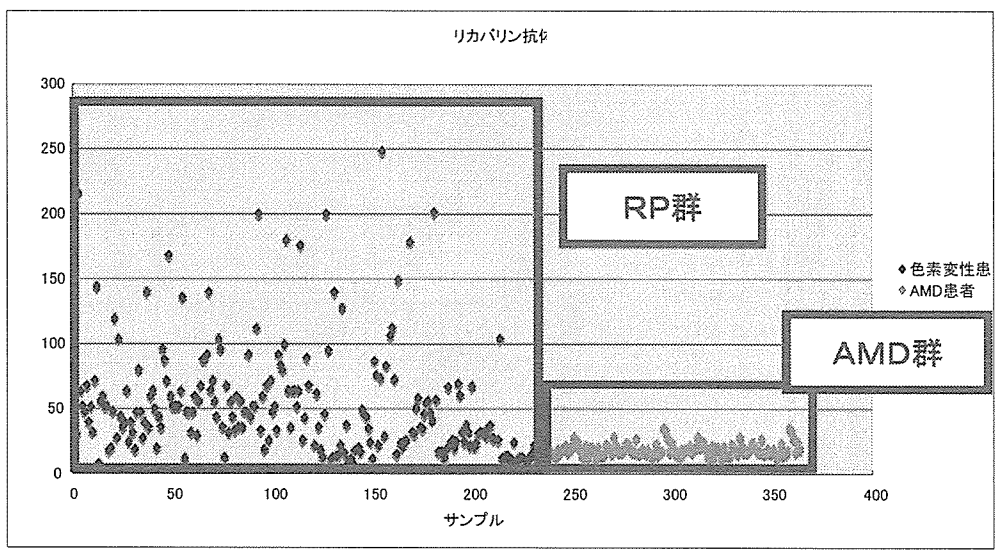
1．特許取得　　なし

2．実用新案登録　　なし

3．その他　　なし

I．参考文献

Heckenlively JR, Fawzi AA, Oversier J, Jordan BL, Aptsiauri N. Autoimmune retinopathy: patients with antirecoverin immunoreactivity and panretinal degeneration. Arch Ophthalmol 118: 1525-1533, 2000.



45. 色素変性モデルにおけるフォトトランスダクション経路と視細胞死の検討

辻川元一、中尾武史、田野保雄
（大阪大）

研究要旨　網膜色素変性症をはじめとする網膜遺伝性疾患については多くの原因遺伝子が単離されたがその視細胞死にいたるメカニズムは全く不明である。我々は色素変性の患者および、モデルが視物質の局在異常を示すことを手がかりに、これと類似する表現型を示すゼブラフィッシュ変異体 ovl を用いて、フォトトランスダクションが視細胞死に与える影響を検討した。ovl おける視細胞死は暗条件下では明条件下よりも明らかに抑制された。正常視細胞は用いた実験系では視細胞死を示さなかった。これにより ovl 視細胞死には光が促進的に働いていた。ovl においてロドプシンを発現抑制したところ視細胞死は抑制されたため、この効果はフォトトランスダクション系を介したものと考えられた。次に Transducin α を抑制しても視細胞死は抑制されたため、視細胞死のシグナルは Transducin 以下のフォトトランスダクション系につながっていると考えられた。

A．研究目的

網膜色素変性症は視細胞死を病因の主体とする遺伝性変性疾患群である。遺伝子座異質性が高く、原因遺伝子の多くが単離されたが、視細胞死のメカニズムに関しては不明である。フォトトランスダクション経路は単離された遺伝子の中の大きな部分を占め、また、光毒性の点からも視細胞死との関連を多く言われてきた遺伝子群である。今回の目的は、このフォトトランスダクション経路と視細胞死の関連を vivo のモデルを用いて検討することである。

B．研究方法

ゼブラフィッシュの ENU 誘導変異体で、視細胞変性モデルである ovl を解析に用いた。ovl は繊毛の輸送蛋白である IFT88 であり ovl はこれを失うことにより外節が発達せず、視物質の局在異常を引き起こし視細胞死に至る。繊毛の蛋白群をコードする遺伝子群は近年、色素変性の原因遺伝子群、とくに、BBS のそれと認識されるに至っている。また、視物質の局在異常は色素変性を含め、視細胞死を引き起こす各種の疾患に認められる病態である。このモデルを用いて視細胞死における光の効果や、フォトトランスダクション経路の視細胞死への影響を vivo で検討した。フォトトランスダクション経路の遺伝子発現抑制には morpholino nucleotide を用い、視細胞の評価は冷凍切片を用い、視細胞マーカーを染色するか、GFP にて Rod を可視化した魚を用い、残存視細胞をカウントすることによった。

（倫理面への配慮）
本研究においては、該当事項はない。

C．研究結果

ovl における視細胞死は光依存性を示した。この光依存性が、フォトトランスダクション経路によるものであることを示すため、抗ロドプシン morpholino を用いてロドプシンの発現を抑制したところ視細胞死が抑制されたことより、フォトトランスダクション系の活性化は視細胞死に促進的に働くことが示唆された。つづいて、このロドプシンからのシグナルがフォトトランスダクションのどの段階で視細胞死を引き起こすのかを検討するため抗 transducin α morpholino を用いて transducin の発現を ovl にて抑制したところ、視細胞死も抑制されたため、少なくとも tranducin 以降で視細胞死のシグナルと連なっていると考えられた。

D．考察

色素変性においてフォトトランスダクションと視細胞死の関連は長年議論されていたが、その詳細なメカニズムについては不明であった。今回、フォトトランスダクションは色素変性状態の視細胞にとってはその視に関して促進的に働くということが示されたことは、重要な知見であると考える。また、その死のシグナルは transducin 以降に結合することも示された。フォトトランスダクション経路は変形された3量体G蛋白を中心としたシグナルトランスダクション経路であり、G蛋白は Gi 型の transducin、共役受容体は Opsin 群、エフェクターは PDE である。ここで、transducin 以降の経路が問題であるのなら、視細胞死のシグナルは比較的選択性の弱いエフェクターか、PDE 以降の cGMP や Ca++が有力なターゲットとなる。

我々はこれらのターゲット経路の一つを薬剤で阻害したところ、ovl での視細胞死は有意に減少した。現在、その他の経路も含め、より特異性の高い化合物や、標的遺伝子の単離を目的としてスクリーニング系を準備している。

E．結論

ovl における視細胞死においてはフォトトランスダクション経路は促進的に働いており、それは transducin 以降の経路において視細胞死のシグナルに連なっていると考えられる。

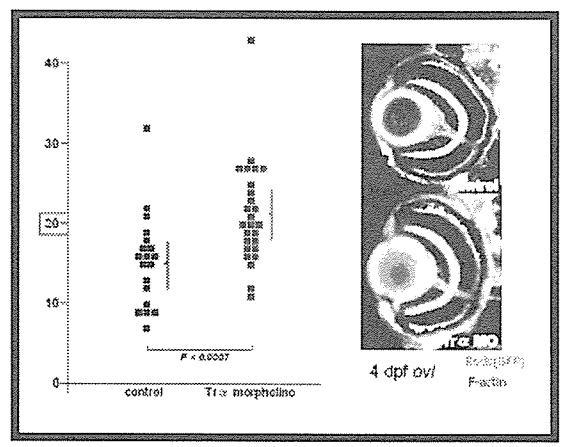


図1　transducin 抑制による視細胞死の抑制

F．健康危険情報　　なし

G．研究発表

1．論文発表

1. Tsujikawa M, Malicki J: Intraflagellar transport genes are essential for differentiation and survival of vertebrate sensory

neurons. Neuron.42: 703-716, 2004.
2. Tsujikawa M, Malicki J: Genetics of photoreceptor development and function in zebrafish. Int J Dev Biol. 48: 925-934, 2004.
3. Otteson C, Tsujikawa M, Gunatilaka T, Malicki J, Zack D: Genomic organization of zebrafish cone-rod homeobox gene and exclusion as a candidate gene for retinal degeneration in niezerka and mikre oko Molecular Vision. 11: 986-995, 2005.
4. Pujic Z, Omori Y, Tsujikawa M,Thisse B, Thisse C, Malicki J: Reverse genetic analysis of neurogenesis in the zebrafish retina. Developmental Biology. 293: 330-347, 2006.

２．学会発表

1. Tsujikawa M, Doerre G, Malicki J: Genetic analysis of photoreceptor development. 5th International conference on zebrafish development & genetics. (Medison) 2002 年6月 13 日
2. Tsujikawa M., Doerre G,. Malicki J: Characterization of key regulator of photoreceptor development, mikre oko. 3rd European Conference on zebrafish and medaka genetics and development (Paris) 2003 年 6 月 13 日
3. Pujic Z., Tsujikawa M., Thisse B., Thisse C: Reverse genetic analysis of neuro genesis in the retina. 3rd European Conference on zebrafish and medaka genetics and development (Paris) 2003 年 6 月 11 日
4. Tsujikawa M, Malicki J: Ovl is essential for differentiation and survival of vertebrate sensory neurons (Florida) 2004 年 4 月 26 日
5. Tsujikawa M, Malicki J: Ovl is essential for differentiation and survival of vertebrate sensory neurons 6th International conference on zebrafish development & genetics (Wisconsin) 2004 年 8 月 1 日
6. Tsujikawa M, Malicki J. mikre oko, a regulator of photoreceptor differentiation. 6th International conference on zebrafish development & genetics (Wisconsin) 2004 年 8 月 1 日
7. 辻川元一、Jarema Malicki. ovl 変異体感覚器受容体における繊毛の喪失と細胞死 第 11 回小型魚類研究会(岡崎)2005 年 9 月 30 日
8. 辻川元一、沢美喜、五味文、田野保雄 網膜色素変性における発症年齢曲線 第 60 回臨床眼科学会(京都)2006 年 10 月 6 日

H．知的財産権の出願・登録状況

１．特許取得　なし
２．実用新案登録　なし
３．その他　なし

I．参考文献　なし

Int. J. Dev. Biol. 48: 925-934 (2004)
doi: 10.1387/ijdb.041890mt

Genetics of photoreceptor development and function in zebrafish

MOTOKAZU TSUJIKAWA and JAREMA MALICKI*

Department of Ophthalmology, Harvard Medical School, Boston, MA, USA

ABSTRACT The vertebrate photoreceptor is a cell of unique morphology and function. It is an exquisite light detector, both sensitive and adaptable. Several unusual morphological features facilitate photoreceptor function. Signal detection is accomplished by a specialized apical structure, the outer segment. There, the capture of light produces fluctuations in cell membrane potential, which are then transmitted to the downstream circuitry of the retina via a rare type of synaptic junction, the ribbon synapse. The development, maintenance and function of the vertebrate photoreceptor cell have been studied mainly in four model organisms, ranging from an amphibian to man. A teleost fish, the zebrafish, is an important recent addition to this group. Genetic screens in zebrafish have identified an impressive collection of photoreceptor cell mutants, including the absence or malformation of specific morphological features as well as functional abnormalities. These mutant strains are currently studied using both molecular and embryological tools and provide important insights into photoreceptor biology.

KEY WORDS: *zebrafish, photoreceptor, outer segment, cell polarity, vision*

Introduction

The vertebrate photoreceptor cell is an extraordinary biological sensor that functions both in intense sunlight and in the dim illumination of the night. In near-darkness, rod photoreceptor cells detect single photons. Cone photoreceptors, on the other hand, remain responsive to changes of light intensity even at an illumination that is eleven orders of magnitude higher (reviewed in Pugh and Lamb, 2000). The detection of light is accomplished by photoreceptor outer segments, elongated stacks of hundreds of membrane folds that in some species store more than 10^9 visual pigment molecules. The activation of visual pigments, opsins, by light leads to a complex chain of events that involve numerous signal transducers, enzymes, and ion channels of the outer segment. Ultimately, photopigment activation leads to changes in photoreceptor membrane potential that are passed through an unusual type of synapse, the so-called ribbon synapse, to the interneurons of the inner retina. The photoreceptor is a cell of unusual morphology and remarkable function. How does it form in the course of embryogenesis?

Several important regulators of photoreceptor cell fate have been recently identified. Two homeobox transcription factors, *Otx2* and *Crx*, control the earliest stages of photoreceptor development. In the absence of *Otx2* function, photoreceptor cells are missing while amacrine cell numbers increase (Nishida *et al.*, 2003). *Crx*, a downstream target of *Otx2*, acts somewhat later and is necessary for early steps of photoreceptor differentiation (Furukawa *et al.*, 1999). Photoreceptor cells form in *Crx*-deficient animals, but they express dramatically reduced amounts of visual pigments as well as other components of the phototransduction cascade, and subsequently degenerate (Furukawa *et al.*, 1999). While *Otx2* and *Crx* play a general role in photoreceptor cell fate acquisition and differentiation, three other transcription factors, *TRβ2*, *Nrl*, and *Nr2e3*, regulate the specification photoreceptor types. The loss of *TRβ2*, a thyroid hormone receptor, results in an increase of short wavelength cones at the expense of middle wavelength cells in mice (Ng *et al.*, 2001). Murine loss of function mutations in *Nrl* and *Nr2e3*, on the other hand, result in the overproduction of short wavelength cones at the expense of rods (Haider *et al.*, 2001, Mears *et al.*, 2001, Milam *et al.*, 2002).

In addition to these advances in the understanding of early photoreceptor development, several genes have been shown to function in the differentiation of the unique photoreceptor morphology. Rod outer segments do not differentiate in the absence of rod opsin expression (Lem *et al.*, 1999), and two tetraspanins, peripherin and ROM1, are thought to function in the assembly of

Abbreviations used in this paper: CC, connecting cilium; hpf, hours post fertilization; IS, inner segment; OLM, outer limiting membrane; OS, outer segment; ST, synaptic terminus; TEM, transmission electron microscopy.

***Address correspondence to:** Dr. Jarema Malicki. Department of Ophthalmology, Harvard Medical School, 243 Charles St., Boston, MA 02110. USA. Fax:+1-617-573-4290. e-mail: jarema_malicki@meei.harvard.edu.

0214-6282/2004/$25.00

Printed in Spain
www.ijdb.ehu.es

the outer segment membrane folds (Clarke *et al.,* 2000, Connell *et al.,* 1991, Travis *et al.,* 1991). Despite these accomplishments, much remains to be learned both about early steps of photoreceptor cell fate acquisition and even more about photoreceptor differentiation. The zebrafish model offers an excellent opportunity to advance the understanding of these areas.

Zebrafish photoreceptor cells

The zebrafish is well suited to study vertebrate embryogenesis (reviewed in Driever *et al.,* 1994, Malicki, 2000, Thisse and Zon, 2002). Its embryos and larvae are largely transparent and develop externally, making it easy to monitor many developmental processes. Another key asset of the zebrafish model is its rapid embryogenesis. The development of most organs has begun by 24 hours postfertilization (hpf) and many organ systems are fully functional within the first 5 days of development. The retina is not an exception: during approximately two days, from 28 to 80 hpf, the optic cup transforms from a single neuroepithelial sheet into a functional multilayered structure which in behavioral tests is capable of responding to light (Easter and Nicola, 1996). Finally, large numbers of zebrafish embryos can be easily produced allowing the application of high-throughput approaches to the study of embryogenesis.

It is a fortuitous circumstance that gross anatomical features of the vertebrate retina have remained largely unchanged in the course of evolution. Similar to the mammalian eye, the zebrafish retina consists of seven major cell classes, and its photoreceptor cells display the same gross morphological characteristics as mouse or human cells. The differentiation of zebrafish photoreceptors, starting from cell cycle exit, and culminating in the formation of outer segments and synaptic ribbons, occurs in a short period of less than 20 hours. Birth dating studies indicate that zebrafish photoreceptors first exit the cell cycle between 43 and 48 hpf, and develop their characteristic elongated morphology by 48 hpf (Hu and Easter, 1999, Larison and Bremiller, 1990, Nawrocki, 1985). The expression of rod opsin becomes detectable around 50 hpf, and blue and red opsins appear shortly thereafter at 52 hpf (Raymond *et al.,* 1995). Zebrafish photoreceptors express at least six opsin genes: blue, red, rod, ultraviolet, and two types of green (Vihtelic *et al.,* 1999). With the exception of the two green opsin polypeptides, which are thought to be co-expressed in the same cells, each of the opsin gene products appears to be present in a distinct photoreceptor type: blue opsin in long single cones, UV opsin in short single cones, red and green opsins in the two members of the double cone pair, and rhodopsin in rods (Vihtelic *et al.,* 1999). The rudiments of photoreceptor outer segments appear shortly after the onset of opsin expression at 54 hpf, and the synaptic ribbons are discernible in the ventral patch by 62 hpf (Schmitt and Dowling, 1999). In addition to opsin expression, different types of zebrafish photoreceptor cells can be identified based on morphological features such as the shape or the location of their outer segments (Branchek and Bremiller, 1984). The UV cones are the first to develop unique morphology and become distinguishable on histological sections between 3 and 4 days postfertilization (dpf). By 12 dpf, all zebrafish photoreceptor types are morphologically distinct (Branchek and Bremiller, 1984).

Several unique features characterize photoreceptor morphology. The most obvious one is the presence of the outer segment (Fig. 1 A,B,C). Outer segments are elongated stacks of membrane folds that harbor the components of the phototransduction apparatus, including opsins. Similar to other vertebrate species, rod and cone outer segments display distinct morphologies. In fact, the names of these cell subpopulations reflect outer segment shapes: conical in cones, and rod-like in rods. The spatial arrangement of cell membrane is another distinguishing feature of rod and cone outer segments. While cone outer segments consist mainly of numerous cell membrane infoldings that run parallel to each other and open to the extracellular environment, the rod outer segment membrane forms an array of sealed pouches, flattened and stacked on top of each other (Rodieck, 1973). The outer segment membrane connects to the cell body via a narrow stalk, which tightly surrounds a primary cilium (the so-called connecting cilium, Fig. 1 A,D). The basal body of this cilium localizes to the apical-most region of the inner segment. At least four areas can be distinguished basal to the connecting cilium in the photoreceptor soma, based on the content of its cytoplasm: the mitochondria-rich ellipsoid, the contractile myoid, the perinuclear area, and the synaptic terminus (Dowling, 1987, Rodieck, 1973). The photoreceptor cell surface features another important subdivision. Similar to epithelial cells, a belt of cell junctions partitions the photoreceptor cell membrane into apical and baso-lateral domains (Fig. 1 A,B,C,E,F). For historical reasons, the junctional region is termed the outer limiting membrane (Rodieck, 1973). Its position varies relative to the cell nucleus depending on the developmental stage and photoreceptor type. In the adult zebrafish retina, rod nuclei are located basal to the outer limiting membrane, while most cone nuclei are localized apical to it (Branchek and Bremiller, 1984, Raymond *et al.,* 1993). The apical processes of Muller glia contribute to cell junctions of the outer limiting membrane and terminate in its region (Fig. 1F).

The proximal-most photoreceptor cell feature is the synaptic terminus (Fig. 1 A,G). In zebrafish cone photoreceptors, it features a single invagination, which accommodates a tight bundle of bipolar and horizontal cell dendrites (Allwardt *et al.,* 2001). These associate with each other forming so-called triads. Within a triad, two horizontal cell processes surround bipolar cell dendrites. The presynaptic membranes of photoreceptor synapses are associated with specialized structures termed synaptic ribbons. The function of these is thought to assure a graded and continuous neurotransmitter release (Juusola *et al.,* 1996). Interspersed between ribbon synapses, zebrafish pedicles also contain so-called basal contacts, another type of cell junction that displays at least some synaptic characteristics (Allwardt *et al.,* 2001). Consistent with behavioral studies of retinal function, the synaptic apparatus of zebrafish cone photoreceptor cells is well differentiated by 75 hpf.

Similar to other cell classes, zebrafish photoreceptors are generated in a complex spatial-temporal pattern. The first cells to differentiate are located in a small area of the eye cup nasal to the choroid fissure, the so-called ventral patch (Raymond *et al.,* 1995). This is followed by a gradual appearance of photoreceptor cells in progressively more dorsal regions. The retina of an early zebrafish larva is dominated by cones, which start to form a regular array as early as 60 hpf (Larison and Bremiller, 1990). Rods are initially present at a low density and do not appear to be organized in any specific way. Between 10 and 21 dpf, as their density increases, rows of rods become noticeable in the retina. In the adult, the rows of cones and the rows of rods alternate (Fadool, 2003, Larison and

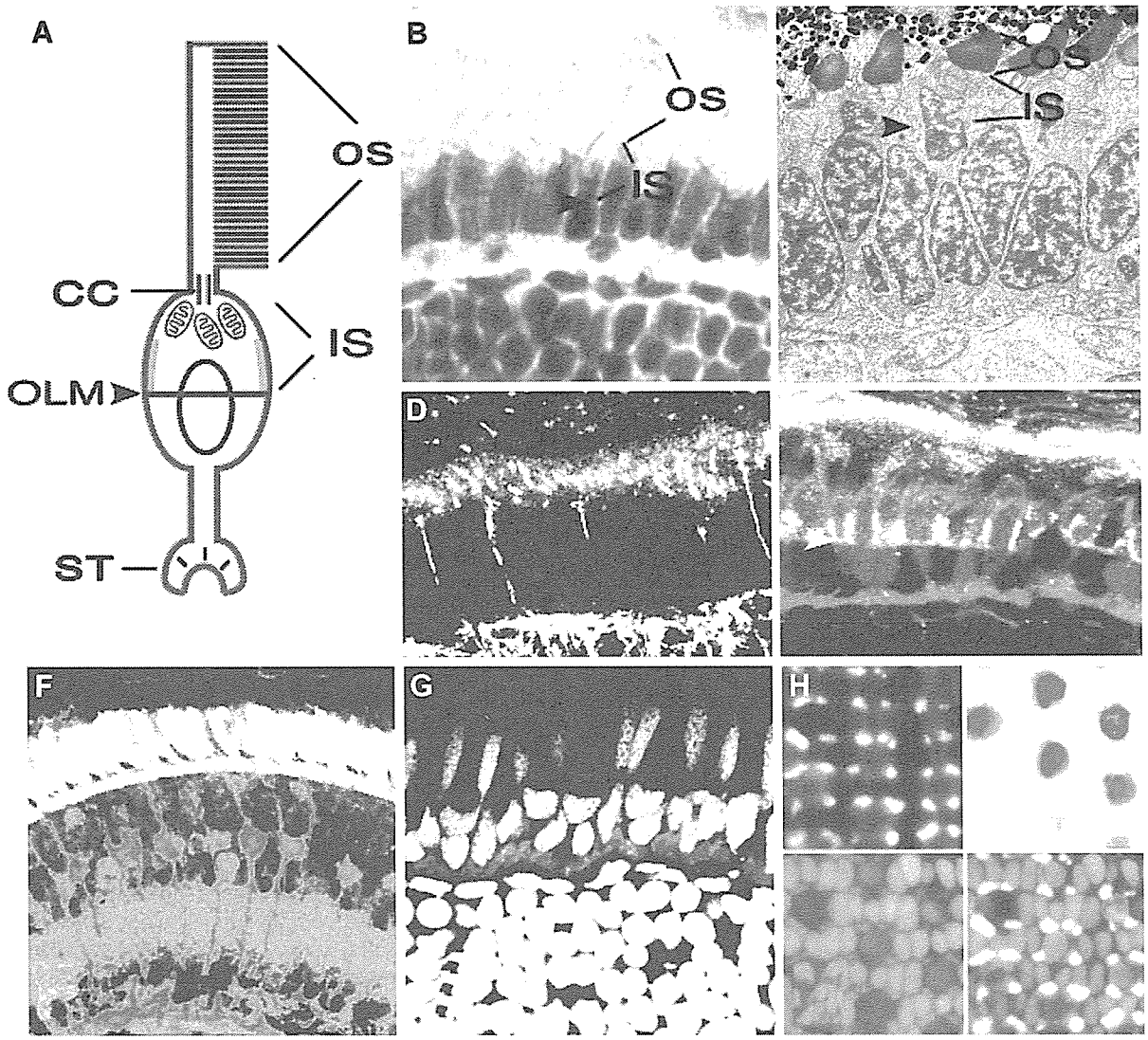


Fig. 1. The photoreceptor cell. (A) *A schematic representation of the vertebrate photoreceptor cell. The photosensitive part of the photoreceptor cell, the outer segment, is a tall stack of membrane folds that connects to the rest of the photoreceptor body via a primary cilium, known as the connecting cilium. The basal end of the connecting cilium is anchored in the inner segment, the apical-most part of the photoreceptor perikaryal region, characterized by the presence of numerous mitochondria. The basal-most region of the photoreceptor cell features the synaptic terminus, which contains specialized synaptic junctions, called ribbon synapses. Similar to epithelial cells from which photoreceptors originate, the photoreceptor cell body is subdivided by a belt of cell junctions (OLM) into apical and baso-lateral domains. Distinct molecular properties of these membrane domains are evident in the distribution of several polypeptides, such as the* nok *or* has *gene products (green lines).* **(B)** *At 5 dpf, photoreceptor cells of the zebrafish larva feature long outer segments and are functional by electrophysiological criteria. In this panel, photoreceptor cells and their outer segments are visualized by methylene blue-staining of a plastic section. The retina shown in this panel was treated with PTU, a chemical that inhibits pigmentation revealing the presence of outer segments.* **(C)** *Inner segments are characterized by the presence of numerous mitochondria. They are evident on this TEM image of a section through the photoreceptor cell layer at 3 dpf.* **(D)** *Photoreceptor connecting cilia are visualized with anti-acetylated tubulin antibodies (green). The IFT52 polypeptide, a component of the intraflagellar transport particle, is particularly highly concentrated at the base of cilia. Its presence is revealed by antibody staining (red).* **(E)** *Double cones of the zebrafish retina are visualized by antibody staining (red). Similar to other photoreceptor types, their surface is subdivided into apical and baso-lateral domains by a belt of adherens junctions, here visualized with fluorophore-conjugated phalloidin (blue). Antibody staining reveals that the Nagie oko polypeptide localizes next to adherens junctions in a narrow apical region of the photoreceptor surface (green).* **(F)** *The processes of Muller glia, here revealed by staining with anti-carbonic anhydrase antibody (red), extend into the photoreceptor cell layer and contribute to the junctions of the outer limiting membrane that subdivide the surface of photoreceptor cells (green).* **(G)** *Photoreceptor synapses are visualized with antibodies against syntaxin 3 (red) and SV2 (blue).* **(H)** *In the plane of the photoreceptor cell layer, cells form a regular pattern. Clockwise, starting from the lower left image: photoreceptor nuclei stained with DAPI (blue), rod opsin-GFP transgene expression (green), anti-UV-opsin antibody staining of short single cones (red), and a merged image of the previous three. CC, connecting cilium; IS, inner segment; OLM, outer limiting membrane; OS, outer segment, ST, synaptic terminus. In B through G, retinal pigment epithelium is up. Arrowheads indicate the approximate position of the outer limiting membrane. Panel H provided courtesy of Jim Fadool.*

Bremiller, 1990). Within each row, cones display a recurrent order: long single cone, double cone, blue cone, double cone ... etc. Rods localize to both sides of each cone-cone interface. Consequently, each cone is surrounded by four rods that appear to occupy corners of a square (Fig. 1H) (Fadool, 2003). This precise spatial arrangement of rods and cones is referred to as the photoreceptor mosaic. As the number of rods increases in the adult further, in some areas of the retina the relatively sparse and regular spacing of rods becomes much more crowded so that the rows of cones become separated by continuous streams of densely packed rod photoreceptor cells (Fadool, 2003, Larison and Bremiller, 1990).

Photoreceptors also exist outside the eye. Although the pineal photoreceptors are not as precisely organized as the retinal ones, they display a number of features characteristic of their retinal counterparts. Their outer segments, for example, are attached to the cell body via the connecting cilium, and are surrounded by calycal processes. The pineal photoreceptor outer segments are cone-shaped and their cell membrane forms infoldings instead of free-floating discs, suggesting that they are related to cones (Allwardt *et al.,* 2001). Despite these cone-like features, the pineal photoreceptors express both red cone opsin and exo-rhodopsin, a visual pigment that arose by a duplication of an ancesteral rod opsin gene (Asaoka *et al.,* 2002, Mano *et al.,* 1999, Robinson *et al.,* 1995). In contrast to morphology, the type of visual pigment that they express suggests a relatedness of pineal photoreceptors to rods. Similar to cells in the retina, the synaptic termini of pineal photoreceptors also contain ribbons. In contrast to retina, however, pineal synapses contact two postsynaptic processes forming a configuration that resembles the dyad arrangement of retinal bipolar cells (Allwardt and Dowling, 2001). It is not clear whether the pineal eye represents a primitive stage during eye evolution or has evolved largely independently (Pichaud and Desplan, 2002). The analysis of pineal photoreceptor cells may offer insights into this interesting issue.

Genetics of photoreceptor development in zebrafish

Several characteristics of the zebrafish model make it suitable for genetic experiments, particularly mutagenesis screens (reviewed in Malicki, 2000). Large numbers of zebrafish can be maintained in a fairly small laboratory space, their generation time is relatively short, and a single female can produce a large number of progeny. The power of zebrafish genetics is best illustrated by the results of two mutagenesis approaches, chemical and retroviral, that have been successfully applied on a large-scale to isolate thousands of mutant lines (Driever *et al.,* 1996, Golling *et al.,* 2002, Haffter *et al.,* 1996).

Fortuitously, photoreceptor mutants in zebrafish appear to be relatively easy to isolate. This is most likely the case because photoreceptor cells are more bulky compared to other retinal neurons, and consequently their loss or malformation is easily detectable as a reduction of eye size. While mutations in over 15 loci are known to produce cell loss predominantly in the photoreceptor cell layer (Table 1), fewer than 5 mutations have been described to result in similar defects within all the remaining retinal strata. In all zebrafish mutants of photoreceptor development identified so far, photoreceptor cells are initially formed, although they frequently develop severe abnormalities already during early steps of differentiation. The severity and the time of onset vary greatly in zebrafish photoreceptor mutants. One of the earliest defects of differentiation is observed in the mutant *mikre oko* (*mok*) which displays abnormal morphology as early as 60 hpf (Doerre and Malicki, 2002, and unpublished results). On the opposite end of the spectrum, two mutants, *night blindness a* (*nba*) and *night blindness d* (*nbd*), produce late-onset dominant photoreceptor defects, by 4 months and by 2 years of age, respectively (Li and Dowling, 1997, Maaswinkel *et al.,* 2003). The importance of late-onset phenotypes lies in their relevance to age-related retinal diseases, a very frequent group of disorders in the human population.

Several mutations appear to affect specific features of photoreceptor cell morphology. Defects in three loci, *oval* (*ovl*), *elipsa* (*eli*), and *fleer* (*fli*), block outer segment formation. In mutant animals, photoreceptor inner segments as well as the rest of the photoreceptor cell somata appear normal (Doerre and Malicki, 2002, Tsujikawa and Malicki, 2004). A decrease of the outer segment size has also been reported in the mutant *vestigial outer segments* (*vos*). Also in this strain of animals, the rest of the photoreceptor cell body is normal (Mohideen *et al.,* 2003). By contrast, defects of the *mok* and the *niezerka* (*nie*) loci affect both outer segments and the morphology of more proximal photoreceptor cell features (Doerre and Malicki, 2002). Nearly all *mok* photoreceptors lack outer segments and their somata frequently do not differentiate an elongated morphology characteristic of this cell class (Doerre and Malicki, 2001). Interestingly, in genetically mosaic retinae, *mok* mutant cells that are surrounded by wild-type tissue, differentiate robust outer segments while their perikaryal regions and synaptic termini remain grossly abnormal (Doerre and Malicki, 2001). The cell-nonautonomous component of the *mok* phenotype is thus confined to the outer segment. Finally, mutations in at least one gene, *no optokinetic response c* (*nrc*), predominantly affect the synaptic region while outer segments and perinuclear areas appear normal. Few postsynaptic processes invaginate into the *nrc* synaptic termini and the synaptic ribbons do not properly attach to the presynaptic membrane (Allwardt *et al.,* 2001). The analysis of these mutants has revealed that genetically independent mechanisms regulate several photoreceptor features, such as the outer segment or the synaptic terminus. So far, the identity of most

TABLE 1 (opposite)

MUTATIONS AFFECTING ZEBRAFISH PHOTORECEPTOR CELLS

The following criteria were used to define the phenotypic categories included in this table. Mutant loci that produce obvious defects in histological (HIS) or electron microscopic (EM) analysis by 3 dpf were classified as affecting **differentiation**. Mutants that show normal photoreceptor development at 3 dpf and then start to degenerate are classified as **survival**. In some cases we were unable to assign a mutant locus to differentiation or survival categories due to the lack of relevant data. These mutants were classified as **differentiation/survival**. Mutants that do not display a phenotype in histological or electron microscopic analyses at all stages examined, are classified as **functional**. As *nab* and *nbd* display a particularly late survival defect, they were classified as **survival (late phenotype)**. Mutations that predominantly affect the organization of cells, are classified as **patterning**. Genetic defects that cause cell degeneration throughout the retina are not listed, even though they may also affect photoreceptor cells.

Mutants of any given category may also contain additional, as yet uncharacterized defects in other aspects of retinal biology. Further studies of these mutants may thus alter their classification. As complementation tests have not been exhaustively performed, it is possible that mutations of single locus are currently represented by two different entries. Entries are sorted alphabetically by "general category" and "phenotype". Abbreviations: CNS, central nervous system; dpf, days postfertilization; EM, electron microscopy; ERG, electroretinograms; HIS, Histology; IS, inner segment; LG, linkage group; MA, mosaic analysis; mpf, months postfertilization; OPL, outer plexiform layer; OS, outer segment; PRC, photoreceptor cell; RPE, retinal pigmented epithelium; ST, synaptic terminus.

LOCUS NAME (ABBREVIATION)	GENE/ LG	GENERAL CATEGORY	PHOTORECEPTOR PHENOTYPE	OTHER PHENOTYPES	ALLELES	REFERENCE
brudas (bru)	?/?	differentiation	HIS: PRC loss, central (3 dpf) EM: gross morphology abnormal, no OS, few IS	pigmentation, touch response	m148 tw212d s3556	(Doerre and Malicki, 2002, Goldsmith *et al.*, 2003, Malicki *et al.*, 1996)
	?/LG9		MA: autonomous			
elipsa (eli)		differentiation	HIS: PRC loss, central (3 dpf) EM: no OS formation ERG: no response	pronephros, body axis curved	m649 tp49d	(Bahadori *et al.*, 2003, Doerre and Malicki, 2002, Malicki *et al.*, 1996)
	?/?		MA: autonomous			
fleer (flr)		differentiation	HIS: PRC loss, central (3 dpf) EM: no OS formation MA: autonomous	pronephros, body axis curved	m477	(Doerre and Malicki, 2002)
oval (ovl)	*IFT88*/ LG9	differentiation	HIS: PRC loss, central (3 dpf) EM: no OS formation ERG: no response MA: autonomous	pronephros, body axis curved	tz288b	(Bahadori *et al.*, 2003, Doerre and Malicki, 2002)
discontinuous (dis)	?/?	differentiation	HIS: PRC loss, patchy (3 dpf)	brain	m704	(Malicki *et al.*, 1996)
krenty (krt)	?/?	differentiation	HIS: PRC loss, patchy (3 dpf)	brain	m704	(Malicki *et al.*, 1996)
sinusoida (sid)	?/?	differentiation	HIS: PRC loss, patchy (3 dpf)	brain	m704	(Malicki *et al.*, 1996)
mikre oko (mok)	?/?	differentiation	HIS: PRC loss, peripheral (3 dpf) EM: gross morphology abnormal, few OS MA: nonautonomous	none	m632	(Doerre and Malicki, 2001, Malicki *et al.*, 1996)
niezerka (nie)	?/?	differentiation	HIS: PRC loss, peripheral (3 dpf) EM: OS and IS defect MA: nonautonomous	brain slightly smaller	m743	(Doerre and Malicki, 2002, Malicki *et al.*, 1996)
not really finished (nrf)	*nrf1*/ LG4	differentiation	HIS: PRC loss, peripheral (3 dpf) EM: OS malformation	brain	hi39a	(Becker *et al.*, 1998)
bleached (blc)	?/?	differentiation/ survival	HIS: PRC loss (5 dpf) ERG: no response	pigmentation, RPE defect	th204b ts23c ty89	(Neuhauss *et al.*, 2003)
punktata (pkt)	?/?	differentiation/ survival	HIS: PRC loss (5 dpf)	pigmentation	m288	(Malicki *et al.*, 1996)
flathead (fla)	?/?	differentiation/ survival	HIS: PRC loss (6 dpf) ERG: abnormal	brain, jaw, branchial arches	ta53c tf21c	(Neuhauss *et al.*, 1999)
fade out (fad)	?/?	differentiation/ survival	HIS: PRC loss, (6 dpf) ERG: abnormal	pigmentation,RPE defect	tc7b t14 tk224 tm63c tp94c	(Neuhauss *et al.*, 1999)
fading vision (fdv)	?/?	differentiation/ survival	HIS: PRC loss, (6 dpf) ERG: abnormal	pigmentation, RPE defect	th236a	(Neuhauss *et al.*, 1999)
sunbleached (sbl)	?/?	differentiation/ survival	HIS: PRC loss, (6 dpf) ERG: abnormal	pigmentation. RPE defect	to4	(Neuhauss *et al.*, 1999)
photoreceptors absent (pca)	?/?	differentiation/ survival	HIS: PRC loss, central (5 dpf)	none reported	a2	(Fadool *et al.*, 1997)
sleepy (sly)	*lamc1*/ LG2	differentiation/ survival (?)	HIS: shorter OS (larve)	brain, notochord	ts33a m446 m86 tp16 te333	(Karlstrom *et al.*, 1996, Neuhauss *et al.*, 1999, Odenthal *et al.*, 1996)
no optokinetic response c (nrc)	?/ LG10	differentiation/ survival	HIS: thin OPL (6 dpf) EM: ST defect ERG: b-wave delayed and reduced	none	a14	(Allwardt *et al.*, 2001)
no optokinetic response b (nrb)	?/?	function	HIS: no defect ERG: delayed and reduced b-wave, a-wave larger	none	a13	(Brockerhoff *et al.*, 1998)
no optokinetic response f (nof)	*gnat2* LG8	function	HIS: no defect EM: no defect	none	w21	(Brockerhoff *et al.*, 2003)
mosaic eyes (moe)	*epb41l5* /LG9	patterning	HIS: all retinal cell layers, including photoreceptors, disorganized MA: nonautonomous	brain, blood circulation	b476 b781	(Jensen *et al.*, 2001; Jensen and Westerfield, 2004)
n-cadherin (ncad), formerly *glass onion, parachute*	*cdh2*/ LG20	patterning	HIS: all retinal cell layers, including photoreceptors, disorganized MA: partially nonautonomous	brain, somites, notochord, heart, tail	m117 fr7 rw95 tm101...	(Malicki *et al.*, 2003, Malicki *et al.*, 1996, Masai *et al.*, 2003)
nagie oko (nok)	*mpp*/ LG17	patterning	HIS: all retinal cell layers, including photoreceptors, disorganized MA: nonautonomous	brain, blood circulation	m227 m520 jj2	(Malicki *et al.*, 1996, Wei and Malicki, 2002)
oko meduzy (ome)	?/?	patterning	HIS: all retinal cell layers, including photoreceptors, disorganized MA: nonautonomous	brain, blood circulation	m289 m298 m320 m98	(Malicki and Driever, 1999, Malicki *et al.*, 1996)
heart and soul (has)	*prkci (aPKC)*/ LG2	patterning	HIS: all retinal cell layers, including photoreceptors, disorganized or degenerating	brain, heart, blood circulation	m129 m567 m781	(Horne-Badovinac *et al.*, 2001, Malicki *et al.*, 1996, Peterson *et al.*, 2001)
partial optokinetic response b (pob)	?/?	survival	HIS: loss of red cones (5 dpf) ERG: a-wave enhanced, b-wave delayed	brain	a1	(Brockerhoff *et al.*, 1997)
ivory (ivy)	?/ LG20	survival	HIS: PRC loss, (6 dpf) MA: nonautonomous	pigmentation, RPE defect	tm271a tp30	(Goldsmith *et al.*, 2003)
vestigial outer segments (vos)	?/ LG23	survival	HIS: PRC loss, peripheral (5 dpf) EM: OS defect	RPE defect	kc18	(Mohideen *et al.*, 2003)
night blindness a (nba)	?/?	survival (late phenotype)	HIS: cell death in PRC (heterozygotes, 4 mpf) nonspecific cell death (homozygotes, 2 dpf) ERG: delayed and reduced b-wave (heterozygotes)	brain (homozygotes)	da10	(Li and Dowling, 1997) (Maaswinkel
night blindness d (nbd)	?/?	survival (late phenotype)	HIS: fewer OS (2 years) (heterozygote) nonspecific cell death (homozygotes, 2 dpf)	brain (homozygetes)	da54	*et al.*, 2003)

zebrafish genes involved in the development of photoreceptor morphology remains unknown. The cloning of these loci, the next obvious step of analysis, will provide insight into the molecular nature of these mechanisms.

The pattern of photoreceptor degeneration varies in zebrafish mutants. In some mutant strains, photoreceptor loss is first visible in the central portion of the retina, in others it first appears in the retinal periphery (Table 1). Finally, in yet another group of mutants photoreceptor abnormalities affect patches of the photoreceptor cell layer (Malicki *et al.,* 1996). The significance of these different patterns is not clear. Photoreceptor loss that starts in the center of the retina may reflect the temporal order of photoreceptor differentiation: photoreceptor progenitors first exit the cell cycle and differentiate in the early larval retina by 43 hpf (Nawrocki, 1985). Although nearly all cells are postmitotic in the central retina by 72 hpf, neurogenesis continues in the retinal periphery (Marcus *et al.,* 1999). This process persists throughout the lifetime of the organism and consequently the age of photoreceptor cells gradually decreases from the center towards the periphery. The central-to-peripheral sequence of photoreceptor loss may thus simply reflect the fact that defects accumulate first in the oldest, centrally located photoreceptors. The opposite sequence of photoreceptor loss, that starts in the periphery, could be explained by a competition of newly generated photoreceptor cells for a factor that is in a limited supply (Doerre and Malicki, 2002). If this hypothesis is true, the phenotypes of these mutants should display in cell-nonautonomous features. This is, in fact, the case: *mok* and *nie*, two mutants characterized by a peripheral photoreceptor loss, display cell-nonautonomous phenotypes in mosaic experiments.

Mosaic analysis is an experimental tool that allows one to evaluate whether abnormalities in a particular cell population are due to an intrinsic defect or to a deficiency in cell's environment. To evaluate whether a deficiency of an extracellular factor is responsible for a mutant phenotype, one generates retinae that contain a mixture of mutant and wild-type cells in varying proportions. In zebrafish, this is accomplished by blastomere transplantations (Ho and Kane, 1990, Malicki, 1999, Pujic and Malicki, 2001). Studies of several zebrafish photoreceptor mutants using this approach revealed both cell-autonomous and cell-nonautonomous components (Doerre and Malicki, 2001, Doerre and Malicki, 2002, Goldsmith *et al.,* 2003). In some cases, mutant cells survive longer when they exist as small clones surrounded by wild-type tissue. This is true for photoreceptors of mutants *mok*, *nie*, and *ivory* (*ivy*) (Doerre and Malicki, 2002, Goldsmith *et al.,* 2003). By contrast, the wild-type environment has little or no effect on photoreceptor survival in *ovl*, *eli*, *flr*, and *brudas* (*bru*). A particularly strong cell-nonautonomous phenotype has been observed in *ivy* mutants: clones of wild-type cells rescue the morphology of *ivy* photoreceptors across several cell diameters, suggesting that the *ivy* mutation causes a loss of a long-range diffusible factor (Goldsmith *et al.,* 2003). Molecular characterization of this and other extracellular factors that affect zebrafish photoreceptor survival may have a considerable practical importance in the treatment of human eye disease.

Genetic analysis also provides clues to the relatedness of pineal and retinal photoreceptor cells. Pineal photoreceptor phenotypes were analyzed in two mutants, *nie* and *nrc*. In *nie* animals, photoreceptors degenerate both in the pineal gland and in the retina early in development, indicating that these two cell populations share genetic circuitry that regulates their differentiation (Allwardt and Dowling, 2001, Doerre and Malicki, 2002). In contrast to that, the *nrc* mutation affects ribbon synapses of retinal photoreceptors only. The ribbon synapses of both pineal photoreceptors and retinal bipolar cells are intact in this mutant (Allwardt and Dowling, 2001). This observation, as well as morphological similarities, suggest that pineal photoreceptor synapses may be related to those of bipolar cells.

Outer segment formation

Outer segments contain the light detection apparatus of photoreceptor cells, including visual pigments and other components of the phototransduction cascade. The opsin polypeptide is the most abundant component of the outer segment membranes: a salamander rod outer segment contains ca. $3x10^9$ rhodopsin molecules and in the absence of rhodopsin expression the outer segments of mouse rod photoreceptors do not form at all (Lem *et al.,* 1999, Pugh and Lamb, 2000). Other components of the phototransduction apparatus, although also abundant, are usually at least an order of magnitude less concentrated. The outer segment membranes are continuously replaced: the distal-most membrane folds are removed while the new ones are added at the outer segment base (Young, 1967). It has been shown that rodent photoreceptor cells renew their outer segments every 10 days (Young, 1967). This rapid turnover of the outer segment membranes requires a continuous transport of massive amounts of proteins to the apical region of the photoreceptor cell and into the outer segment. How is this accomplished?

As outer segments are devoid of protein synthesis, their protein components have to be transported from the cell body. Although other modes of transport cannot be entirely excluded (reviewed in Sung and Tai, 2000), the most likely route of protein movement into the outer segment is via the connecting cilium, a primary cilium of 9 + 0 microtubule configuration (Rodieck, 1973, Rosenbaum *et al.,* 1999). Protein transport along cilia, a process studied most extensively in *Chlamydomonas* and *C. elegans*, is thought to be mediated by so-called intraflagellar transport (IFT) particles. Proteins required in cilia and their derivatives, such as photoreceptor outer segments, are presumed to form complexes with IFT particles at the connecting cilium base. Subsequently, they are thought to associate with kinesin motor proteins that mediate their anterograde transport along the ciliary axoneme. This mode of transport finds support in the observation that kinesin mutants in *Chlamydomonas* and *C. elegans* display cilia defects (reviewed in Scholey, 2003, Signor *et al.,* 1999, Walther *et al.,* 1994). Kinesin may also play a similar role in photoreceptor cells: kinesin-II-deficient mouse photoreceptors show ectopic opsin and arrestin accumulation in inner segments, suggesting that kinesin-mediated transport is necessary for proper outer segment formation or maintenance (Marszalek *et al.,* 2000).

Interestingly, mutations in several zebrafish loci produce the absence of photoreceptor outer segments. One of the best-characterized genes in this category is *ova1* (*ovl*). While inner segments of the *ovl* photoreceptor cells appear intact, their outer segments are entirely missing, indicating a defect in a mechanism that is essential for outer segment formation (Doerre and Malicki, 2002). Cloning of the *ovl* locus revealed that it encodes the zebrafish homolog of IFT88, one of the IFT complex components

(Tsujikawa and Malicki, 2004). The *ovl*^{tz288b} mutant allele contains a nonsense codon in the first one-third of the polypeptide, resulting in a complete loss of IFT88 function (Tsujikawa and Malicki, 2004). Does the *ovl* gene play a role in retinal ciliogenesis? Prior to the onset of neurogenesis and photoreceptor differentiation, the *ovl* cilia appear normal. This changes later in development: by 3 dpf, the *ovl*^{tz288b} mutant photoreceptors lack connecting cilia, although their basal bodies localize to correct positions in the apical portion of the inner segment. The lack of cilia is accompanied by the absence of outer segment membrane stacks, although occasional arrays of several membranes that run parallel to each other are found on the lateral surface of photoreceptor inner segments. These may represent outer segment membrane folds that form ectopically in the absence of intraflagellar transport.

Defects of *ovl* outer segment morphogenesis are followed by photoreceptor degeneration that proceeds following the central-to-peripheral pattern discussed above. Why do *ovl* photoreceptors die? A cause for cell death is suggested by the observation that in the absence of outer segment formation, opsins are detected throughout the entire photoreceptor cell membrane (Tsujikawa and Malicki, 2004). Cell culture experiments suggest that light-induced activation of ectopically localized visual pigments leads to cell death (Alfinito and Townes-Anderson, 2002). Abnormal rod opsin localization followed by photoreceptor cell death is also observed in a transgenic animal model of retinitis pigmentosa (Li *et al.,* 1998). Two experiments demonstrate that this may also be the case in *ovl* animals. First, blocking rod opsin expression with anti-rod opsin morpholino oligonucleotides specifically prolongs the survival of rod photoreceptors in *ovl* retinae. Second, fish reared in constant darkness display a weaker photoreceptor loss (Tsujikawa and Malicki, 2004). These studies suggest the following scenario: in the absence of outer segment formation, rod opsin is misrouted into other cellular compartments, where its activity interferes with intracellular signaling pathways, eventually resulting in cell death. Although this may not be the only mechanism that leads to *ovl* photoreceptor loss, it is likely to be an important contributor to cell death in this and related outer segment mutants.

The IFT particle consists of two protein complexes, termed A and B, each composed of several polypeptides (reviewed in Rosenbaum and Witman, 2002, Scholey, 2003). Ovl/IFT88 is one of over 10 components that form complex B. Are the functions of other complex A and B genes similar to *ovl*? As mutant alleles of other IFT loci have not been described in zebrafish so far, their function has been assayed using an antisense knockdown approach. Blocking the expression of complex B components, IFT52 or IFT57, also results in photoreceptor degeneration, suggesting that their function in the retina is similar to *ovl*. On the contrary, the knockdown of a complex A component, IFT140, does not affect photoreceptor development in assays that have been performed so far. These observations suggest that complex B is essential for photoreceptor differentiation whereas complex A may play only an ancillary role.

In addition to photoreceptors, *ovl* plays important roles in two other classes of sensory cells: auditory hair cells, and olfactory sensory neurons (Tsujikawa and Malicki, 2004). In both of these cell classes, *ovl* is necessary for the maintenance of cilia rather than for their formation. Similar to the visual system, *ovl* function is also required for the survival of sensory cells in the auditory and olfactory organs. In addition to *ovl*, defects in two other zebrafish loci produce closely related outer segment phenotypes. Mutations of the genes *elipsa* (*eli*) and *fleer* (*flr*) result in outer segment abnormalities accompanied by pronephric cysts and curved body axis: in both mutants outer segments appear entirely absent while inner segments retain normal morphology (Doerre and Malicki, 2002, Malicki *et al.,* 1996). As cilia are known to play essential roles both in kidney development and in embryonic patterning, these phenotypes are also likely to be associated with ciliary malfunction"(Huangfu *et al.,* 2003, McGrath *et al.,* 2003, Pazour *et al.,* 2000). Thus *eli* and *flr* may encode intraflagellar transport-related genes, or components of other, as yet unknown, mechanisms that are associated with the formation of cilia.

Cell polarity

Cell surface polarity is an important feature of photoreceptor cells. Similar to epithelial cells, the photoreceptor surface is subdivided by a belt of cell junctions into apical and basolateral domains (Fig. 1A). Studies in *Drosophila* indicate that genetic regulators of photoreceptor polarity are related to genes that control polarity in epithelial cells. First, the products of epithelial polarity genes, Crumbs, Stardust, DmPar-6 and others, localize to the apical membrane of fly photoreceptor cells (Hong *et al.,* 2003, Nam and Choi, 2003). Second, the loss of *crumbs*, *stardust,* or *bazooka* function result in abnormal photoreceptor polarity (Hong *et al.,* 2003, Pellikka *et al.,* 2002, Wodarz *et al.,* 1995). Finally, *crumbs* overexpression results in a 4-fold expansion of the photoreceptor cell apical membrane. The analysis of the vertebrate eye also lends credence to the idea that the regulators of photoreceptor polarity are related to epithelial polarity pathways: homologs of *Drosophila* epidermal polarity genes are expressed in vertebrate photoreceptors and also display polarized distributions (Fig. 1 A,E).

At least two genes are likely to play a role in zebrafish vertebrate photoreceptor polarity: *nagie oko* (*nok*) and *heart and soul* (*has*), homologs of fruit fly loci involved in the polarity of embryonic epithelia, *stardust* and *DaPKC* respectively (Horne-Badovinac *et al.,* 2001, Wei and Malicki, 2002). The *nok* gene product is a MAGUK-family scaffolding factor while *has* encodes an atypical protein kinase C. Both Nok and Has polypeptides localize apical to cell junctions in retinal neuroepithelium and in the photoreceptor cell layer (Fig. 1E). More recently it has been shown that the *pard3a* gene, a zebrafish homolog of the fly locus *bazooka*, also localizes to the vicinity of the outer limiting membrane (Wei *et al.,* 2004). In addition to zebrafish genes, CRB1, a mouse homolog of Drosophila *crumbs*, localizes to photoreceptor cell surface area immediately apical to cell junctions (Pellikka *et al.,* 2002). Thus all apically distributed cell polarity regulators that have been characterized in the vertebrate retina so far localize to analogous cell membrane domains in photoreceptors and in epithelia. It has yet to be investigated whether baso-lateral determinants of epithelial polarity, such as *discs large* or *scribble*, also display baso-lateral distribution in photoreceptor cells.

What is the role of cell polarity determinants in photoreceptor development? Genetic studies in zebrafish indicate that *nok* and *has* functions are closely related to these of their *Drosophila* homologs. Mutations in these loci cause a baso-lateral displacement of apical structures in the retinal neuroepithelium (Horne-Badovinac *et al.,* 2001, Wei and Malicki, 2002). Do they also function in the polarity of

photoreceptor cells? This question is not straightforward to address because the retinae of *has* and *nok* mutant animals are dramatically disorganized following the differentiation of individual cell identities: mutant photoreceptors are scattered throughout the entire retina and do not form a distinct layer (Wei and Malicki, 2002). The differentiation of ectopic photoreceptors in *nok* and related mutants has not been thoroughly investigated so far. It is thus not clear whether the distribution of polarity markers is affected in these cells. Similarly, it has not been investigated whether they differentiate outer segments. The disorganized distribution of photoreceptor cells in *nok* retinae suggests, however, that *nok* is necessary for the integrity of cell junctions of the outer limiting membrane, a crucial element of photoreceptor cell polarity. As cell polarity is most likely essential for both photoreceptor structure and function, the zebrafish mutants are important assets in the study of photoreceptor biology.

Genetic analysis of photoreceptor function

The phototransduction cascade, the central component of photoreceptor function, is another area that is being studied using genetic approaches in zebrafish. Defects of the phototransduction cascade components are likely to produce slow photoreceptor loss and thus are difficult to detect using morphological criteria in zebrafish. Consequently, behavioral screens may be the best genetic approach to identify such defects. As visual system function is ultimately the outcome of a long sequence of developmental and physiological processes, behavioral screens are capable of detecting a particularly broad range of defects, including those in photoreceptor physiology. George Streisinger and his students, the early proponents of the zebrafish model, have already appreciated the potential of behavioral screens and demonstrated that the optokinetic response (OKR) can be used to identify mutations of the visual system (Clark, 1981). This line of investigation has been recently revived, leading to the isolation of several new mutant lines (Table 1). Some of these, such as *noa*^{m631}, *nrb*^{a13} and *nof*^{w21}, do not display obvious morphological or histological defects in the retina and thus appear to affect retinal function rather than development (Brockerhoff *et al.,* 1998, Brockerhoff *et al.,* 2003). Consistent with this conclusion, electroretinograms of these mutant strains frequently display defects. In *nrb*^{a13} mutant animals, for example, the a-wave is larger, suggesting photoreceptor malfunction (Brockerhoff *et al.,* 1998). Recent cloning of the first locus in this group, *nof*, demonstrated that it encodes the α subunit of cone transducin. Cone photoreceptors of *nof*^{w21} mutants are insensitive to low or moderate intensity of light. Interestingly, even in the absence of functional transducin, mutant cones do respond to bright light. These responses are thought to be mediated by transducin-independent calcium release from intracellular storage compartments (Brockerhoff *et al.,* 2003). In addition to development, the zebrafish retina is thus a suitable system to analyze the molecular components of photoreceptor physiology.

Future directions

Many aspects of photoreceptor development and function remain a mystery. Although the nature of several regulatory factors that are involved in early photoreceptor development is already known, the understanding of this process is far from complete. The genetic basis of photoreceptor diversity has also been investigated partially only. The retinae of many vertebrates, including the zebrafish, contain several types of cones but the mechanisms that produce this diversity are not known. In addition to the early steps of photoreceptor specification, the formation of the complex photoreceptor morphology is an extraordinary process that will need to be investigated in depth. It remains to be determined, for example, what molecular mechanisms regulate the formation of the remarkably regular array of hundreds of membrane folds that form the outer segment. Although several genes are already known to function in outer segment assembly, much remains to be done before this process is fully understood. The differentiation of the synaptic terminus and its complex synaptic apparatus is even more of an uncharted territory. Finally, an intriguing question that sill needs to be addressed is the genetic basis of the patterning process that produces the regular arrangement of photoreceptor mosaic in zebrafish and in other species.

One way to uncover the regulators of photoreceptor specification and morphogenesis is to continue genetic screens. A key feature of the screen-based forward genetic approach is that it is unbiased by molecular considerations and frequently leads to the discovery of unexpected new players in a developmental process. This approach has been remarkably successful in the zebrafish model so far, and is likely to provide valuable insights in the future. A promising screening tool that has recently become available in zebrafish are transgenic lines that express the fluorescent marker, GFP, in photoreceptor cells. At least three such lines have been generated. In all cases, GFP expression is driven by upstream regulatory sequences of either zebrafish or *Xenopus* rod opsin genes. In one line, the GFP polypeptide is fused to the 44 C-terminal amino acids of rod opsin and is transported into photoreceptor outer segments. These three lines can be used in genetic screens to monitor subtle aspects of photoreceptor cell development such as the density of rod photoreceptor cells, their distribution across the retinal surface, their morphology, and even the transport of the visual pigment into rod outer segments. Although GFP transgene-aided screens involve the same amount of effort as morphology-based experiments, they allow one to monitor many subtle aspects of photoreceptor position and structure with unprecedented sensitivity.

Not too long ago, the positional cloning of zebrafish mutant genes presented a daunting challenge. Owing to the progress of the zebrafish genome project, the cloning of chemically-induced mutant alleles has become much easier. The challenge of future genetic analysis is to devise new ways to detect defects in specific aspects of photoreceptor development or function. New screening approaches combined with genetic and genomic tools of analysis will assure that the zebrafish retina will continue to be a rich source of interesting insights into the mechanisms of photoreceptor development and function.

Acknowledgements

The authors are grateful to Jim Fadool for images of the photoreceptor cell mosaic. This work has benefited from insightful comments of Drs. Clint Makino, Takahisa Furukawa, Bill Campbell, Ching-Hwa Sung, Koji Nishiguchi, and Yoshihiro Omori.

References

ALFINITO, P.D. and TOWNES-ANDERSON, E. (2002). Activation of mislocalized opsin kills rod cells: A novel mechanism for rod cell death in retinal disease. *Proc Natl Acad Sci USA* 99: 5655-60.

ALLWARDT, B.A. and DOWLING, J.E. (2001). The pineal gland in wild-type and two zebrafish mutants with retinal defects. *J Neurocytol* 30: 493-501.

ALLWARDT, B.A., LALL, A.B., BROCKERHOFF, S.E. and DOWLING, J.E. (2001). Synapse formation is arrested in retinal photoreceptors of the zebrafish nrc mutant. *J Neurosci* 21: 2330-42.

ANSLEY, S.J., BADANO, J.L., BLACQUE, O.E., HILL, J., HOSKINS, B.E., LEITCH, C.C., KIM, J.C., ROSS, A.J., EICHERS, E.R., TESLOVICH, T.M. *et al.* (2003). Basal body dysfunction is a likely cause of pleiotropic bardet-biedl syndrome. *Nature* 425: 628-33.

ASAOKA, Y., MANO, H., KOJIMA, D. and FUKADA, Y. (2002). Pineal expression-promoting element (pipe), a cis-acting element, directs pineal-specific gene expression in zebrafish. *Proc Natl Acad Sci USA* 99: 15456-61.

BECKER, T.S., BURGESS, S.M., AMSTERDAM, A.H., ALLENDE, M.L. and HOPKINS, N. (1998). Not really finished is crucial for development of the zebrafish outer retina and encodes a transcription factor highly homologous to human nuclear respiratory factor-1 and avian initiation binding repressor. *Development* 125: 4369-4378.

BRANCHEK, T. and BREMILLER, R. (1984). The development of photoreceptors in the zebrafish, brachydanio rerio. I. Structure. *J. Comp. Neurol.* 224: 107-115.

BROCKERHOFF, S.E., DOWLING, J.E. and HURLEY, J.B. (1998). Zebrafish retinal mutants. *Vision Res.* 38: 1335-1339.

BROCKERHOFF, S.E., HURLEY, J.B., NIEMI, G.A. and DOWLING, J.E. (1997). A new form of inherited red-blindness identified in zebrafish. *J. Neurosci.* 17: 4236-4242.

BROCKERHOFF, S.E., RIEKE, F., MATTHEWS, H.R., TAYLOR, M.R., KENNEDY, B., ANKOUDINOVA, I., NIEMI, G.A., TUCKER, C.L., XIAO, M., CILLUFFO, M.C. *et al.* (2003). Light stimulates a transducin-independent increase of cytoplasmic Ca2+ and suppression of current in cones from the zebrafish mutant nof. *J Neurosci* 23: 470-80.

CLARK, T. (1981). Visual responses in developing zebrafish (brachydanio rerio), (ed. Eugene, Oregon: University of Oregon.

CLARKE, G., GOLDBERG, A.F., VIDGEN, D., COLLINS, L., PLODER, L., SCHWARZ, L., MOLDAY, L.L., ROSSANT, J., SZEL, A., MOLDAY, R.S. *et al.* (2000). Rom-1 is required for rod photoreceptor viability and the regulation of disk morphogenesis. *Nat Genet* 25: 67-73.

CONNELL, G., BASCOM, R., MOLDAY, L., REID, D., MCINNES, R.R. and MOLDAY, R.S. (1991). Photoreceptor peripherin is the normal product of the gene responsible for retinal degeneration in the rds mouse. *Proc Natl Acad Sci USA* 88: 723-6.

DOERRE, G. and MALICKI, J. (2001). A mutation of early photoreceptor development, *mikre oko*, reveals cell-cell interactions involved in the survival and differentiation of zebrafish photoreceptors. *J. Neuroscience* 21: 6745-57.

DOERRE, G. and MALICKI, J. (2002). Genetic analysis of photoreceptor cell development in the zebrafish retina. *Mech. Dev.* 110: 125-138.

DOWLING, J. (1987). *The retina*. Harvard University Press, Cambridge, Massachusetts.

DRIEVER, W., SOLNICA-KREZEL, L., SCHIER, A.F., NEUHAUSS, S.C., MALICKI, J., STEMPLE, D.L., STAINIER, D.Y., ZWARTKRUIS, F., ABDELILAH, S., RANGINI, Z. *et al.* (1996). A genetic screen for mutations affecting embryogenesis in zebrafish. *Development* 123: 37-46.

DRIEVER, W., STEMPLE, D., SCHIER, A. and SOLNICA-KREZEL, L. (1994). Zebrafish: Genetic tools for studying vertebrate development. *Trends Genet* 10: 152-9.

EASTER, S. and NICOLA, G. (1996). The development of vision in the zebrafish (danio rerio). *Dev. Biol.* 180: 646-663.

FADOOL, J.M. (2003). Development of a rod photoreceptor mosaic revealed in transgenic zebrafish. *Dev Biol* 258: 277-90.

FADOOL, J.M., BROCKERHOFF, S.E., HYATT, G.A. and DOWLING, J.E. (1997). Mutations affecting eye morphology in the developing zebrafish (danio rerio). *Dev. Genet.* 20: 288-295.

FURUKAWA, T., MORROW, E.M., LI, T., DAVIS, F.C. and CEPKO, C.L. (1999). Retinopathy and attenuated circadian entrainment in crx-deficient mice. *Nat Genet* 23: 466-70.

GOLDSMITH, P., BAIER, H. and HARRIS, W.A. (2003). Two zebrafish mutants, ebony and ivory, uncover benefits of neighborhood on photoreceptor survival. *J Neurobiol* 57: 235-45.

GOLLING, G., AMSTERDAM, A., SUN, Z., ANTONELLI, M., MALDONADO, E., CHEN, W., BURGESS, S., HALDI, M., ARTZT, K., FARRINGTON, S. *et al.* (2002). Insertional mutagenesis in zebrafish rapidly identifies genes essential for early vertebrate development. *Nat Genet* 31: 135-40.

HAFFTER, P., GRANATO, M., BRAND, M., MULLINS, M.C., HAMMERSCHMIDT, M., KANE, D.A., ODENTHAL, J., VAN EEDEN, F.J., JIANG, Y.J., HEISENBERG, C.P. *et al.* (1996). The identification of genes with unique and essential functions in the development of the zebrafish, danio rerio. *Development* 123: 1-36.

HAIDER, N.B., NAGGERT, J.K. and NISHINA, P.M. (2001). Excess cone cell proliferation due to lack of a functional nr2e3 causes retinal dysplasia and degeneration in rd7/rd7 mice. *Hum Mol Genet* 10: 1619-26.

HO, R.K. and KANE, D.A. (1990). Cell-autonomous action of zebrafish spt-1 mutation in specific mesodermal precursors. *Nature* 348: 728-7w30.

HONG, Y., ACKERMAN, L., JAN, L.Y. and JAN, Y.N. (2003). Distinct roles of bazooka and stardust in the specification of drosophila photoreceptor membrane architecture. *Proc Natl Acad Sci USA* 100: 12712-7.

HORNE-BADOVINAC, S., LIN, D., WALDRON, S., SCHWARZ, M., MBAMALU, G., PAWSON, T., JAN, Y., STAINIER, D.Y. and ABDELILAH-SEYFRIED, S. (2001). Positional cloning of heart and soul reveals multiple roles for pkc lambda in zebrafish organogenesis. *Curr Biol* 11: 1492-502.

HU, M. and EASTER, S.S. (1999). Retinal neurogenesis: The formation of the initial central patch of postmitotic cells. *Dev. Biol.* 207: 309-321.

HUANGFU, D., LIU, A., RAKEMAN, A.S., MURCIA, N.S., NISWANDER, L. and ANDERSON, K.V. (2003). Hedgehog signalling in the mouse requires intraflagellar transport proteins. *Nature* 426: 83-7.

JENSEN, A.M., WALKER, C. and WESTERFIELD, M. (2001). Mosaic eyes: A zebrafish gene required in pigmented epithelium for apical localization of retinal cell division and lamination. *Development* 128: 95-105.

JENSEN, A.M. and WESTERFIELD, M. (2004). Zebrafish mosaic eyes is a novel FERM protein required for retinal lamination and retinal pigmented epithelial tight junction formation. *Curr Biol* 14: 711-7.

JUUSOLA, M., FRENCH, A.S., UUSITALO, R.O. and WECKSTROM, M. (1996). Information processing by graded-potential transmission through tonically active synapses. *Trends Neurosci* 19: 292-7.

LARISON, K. and BREMILLER, R. (1990). Early onset of phenotype and cell patterning in the embryonic zebrafish retina. *Development* 109: 567-576.

LEM, J., KRASNOPEROVA, N.V., CALVERT, P.D., KOSARAS, B., CAMERON, D.A., NICOLO, M., MAKINO, C.L. and SIDMAN, R.L. (1999). Morphological, physiological, and biochemical changes in rhodopsin knockout mice. *Proc Natl Acad Sci USA* 96: 736-41.

LI, L. and DOWLING, J.E. (1997). A dominant form of inherited retinal degeneration caused by a non- photoreceptor cell-specific mutation. *Proc. Natl. Acad. Sci. USA* 94: 11645-11650.

LI, Z.Y., WONG, F., CHANG, J.H., POSSIN, D.E., HAO, Y., PETTERS, R.M. and MILAM, A.H. (1998). Rhodopsin transgenic pigs as a model for human retinitis pigmentosa. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 39: 808-19.

MAASWINKEL, H., MASON, B. and LI, L. (2003). Enu-induced late-onset night blindness associated with rod photoreceptor cell degeneration in zebrafish. *Mech Ageing Dev* 124: 1065-71.

MALICKI, J. (1999). Development of the retina. *Methods Cell Biol.* 59: 273-299.

MALICKI, J. (2000). Harnessing the power of forward genetics - analysis of neuronal diversity and patterning in the zebrafish retina. *Trends in Neurosciences* 23: 531-541.

MALICKI, J. and DRIEVER, W. (1999). *Oko meduzy* mutations affect neuronal patterning in the zebrafish retina and reveal cell-cell interactions of the retinal neuroepithelial sheet. *Development* 126: 1235-1246.

MALICKI, J., JO, H. and PUJIC, Z. (2003). Zebrafish n-cadherin, encoded by the *glass onion* locus, plays an essential role in retinal patterning. *Dev. Biol.* 259: 95-108.

MALICKI, J., NEUHAUSS, S.C., SCHIER, A.F., SOLNICA-KREZEL, L., STEMPLE, D.L., STAINIER, D.Y., ABDELILAH, S., ZWARTKRUIS, F., RANGINI, Z. and DRIEVER, W. (1996). Mutations affecting development of the zebrafish retina. *Development* 123: 263-273.

MANO, H., KOJIMA, D. and FUKADA, Y. (1999). Exo-rhodopsin: A novel rhodopsin expressed in the zebrafish pineal gland. *Brain Res Mol Brain Res* 73: 110-8.

MARCUS, R.C., DELANEY, C.L. and EASTER, S.S., JR. (1999). Neurogenesis in the visual system of embryonic and adult zebrafish (danio rerio). *Vis Neurosci* 16: 417-24.

MARSZALEK, J.R., LIU, X., ROBERTS, E.A., CHUI, D., MARTH, J.D., WILLIAMS, D.S. and GOLDSTEIN, L.S. (2000). Genetic evidence for selective transport of opsin and arrestin by kinesin-ii in mammalian photoreceptors. *Cell* 102: 175-87.

MASAI, I., LELE, Z., YAMAGUCHI, M., KOMORI, A., NAKATA, A., NISHIWAKI, Y., WADA, H., TANAKA, H., NOJIMA, Y., HAMMERSCHMIDT, M. *et al.* (2003). N-cadherin mediates retinal lamination, maintenance of forebrain compartments and patterning of retinal neurites. *Development* 130: 2479-2494.

MCGRATH, J., SOMLO, S., MAKOVA, S., TIAN, X. and BRUECKNER, M. (2003). Two populations of node monocilia initiate left-right asymmetry in the mouse. *Cell* 114: 61-73.

MEARS, A.J., KONDO, M., SWAIN, P.K., TAKADA, Y., BUSH, R.A., SAUNDERS, T.L., SIEVING, P.A. and SWAROOP, A. (2001). Nrl is required for rod photoreceptor development. *Nat Genet* 29: 447-52.

MILAM, A.H., ROSE, L., CIDECIYAN, A.V., BARAKAT, M.R., TANG, W.X., GUPTA, N., ALEMAN, T.S., WRIGHT, A.F., STONE, E.M., SHEFFIELD, V.C. *et al.* (2002). The nuclear receptor nr2e3 plays a role in human retinal photoreceptor differentiation and degeneration. *Proc Natl Acad Sci USA* 99: 473-8.

MOHIDEEN, M.A., BECKWITH, L.G., TSAO-WU, G.S., MOORE, J.L., WONG, A.C., CHINOY, M.R. and CHENG, K.C. (2003). Histology-based screen for zebrafish mutants with abnormal cell differentiation. *Dev Dyn* 228: 414-23.

NAM, S.C. and CHOI, K.W. (2003). Interaction of par-6 and crumbs complexes is essential for photoreceptor morphogenesis in drosophila. *Development* 130: 4363-72.

NAWROCKI, W. (1985). Development of the neural retina in the zebrafish, brachydanio rerio., (ed. Eugine, Oregon: University of Oregon).

NEUHAUSS, S.C., BIEHLMAIER, O., SEELIGER, M.W., DAS, T., KOHLER, K., HARRIS, W.A. and BAIER, H. (1999). Genetic disorders of vision revealed by a behavioral screen of 400 essential loci in zebrafish. *J. Neurosci.* 19: 8603-8615.

NEUHAUSS, S.C., SEELIGER, M.W., SCHEPP, C.P. and BIEHLMAIER, O. (2003). Retinal defects in the zebrafish bleached mutant. *Doc Ophthalmol* 107: 71-8.

NG, L., HURLEY, J.B., DIERKS, B., SRINIVAS, M., SALTO, C., VENNSTROM, B., REH, T.A. and FORREST, D. (2001). A thyroid hormone receptor that is required for the development of green cone photoreceptors. *Nat Genet* 27: 94-8.

NISHIDA, A., FURUKAWA, A., KOIKE, C., TANO, Y., AIZAWA, S., MATSUO, I. and FURUKAWA, T. (2003). Otx2 homeobox gene controls retinal photoreceptor cell fate and pineal gland development. *Nat Neurosci* 6: 1255-63.

PAZOUR, G.J., DICKERT, B.L., VUCICA, Y., SEELEY, E.S., ROSENBAUM, J.L., WITMAN, G.B. and COLE, D.G. (2000). Chlamydomonas ift88 and its mouse homologue, polycystic kidney disease gene tg737, are required for assembly of cilia and flagella. *J Cell Biol* 151: 709-18.

PELLIKKA, M., TANENTZAPF, G., PINTO, M., SMITH, C., MCGLADE, C.J., READY, D.F. and TEPASS, U. (2002). Crumbs, the drosophila homologue of human crb1/rp12, is essential for photoreceptor morphogenesis. *Nature* 416: 143-9.

PETERSON, R.T., MABLY, J.D., CHEN, J.N. and FISHMAN, M.C. (2001). Convergence of distinct pathways to heart patterning revealed by the small molecule concentramide and the mutation heart-and-soul. *Curr Biol* 11: 1481-91.

PICHAUD, F. and DESPLAN, C. (2002). Pax genes and eye organogenesis. *Curr Opin Genet Dev* 12: 430-4.

PUGH, E. and LAMB, T. (2000). Phototransduction in vertebrate rods and cones:. In *Handbook of biological physics*, vol. 3, pp.183-255.

PUJIC, Z. and MALICKI, J. (2001). Mutation of the zebrafish glass onion locus causes early cell-nonautonomous loss of neuroepithelial integrity followed by severe neuronal patterning defects in the retina. *Dev. Biol.* 234: 454-69.

RAYMOND, P., BARTHEL, L. and CURRAN, G. (1995). Developmental patterning of rod and cone photoreceptors in embryonic zebrafish. *J. Comp. Neurol.* 359: 537-550.

RAYMOND, P., BARTHEL, L., ROUNSIFER, M., SULLIVAN, S. and KNIGHT, J. (1993). Expression of rod and cone visual pigments in godfish and zebrafish: A rhodopsin-like gene is expressed in cones. *Neuron* 10: 1161-1174.

ROBINSON, J., SCHMITT, E. and DOWLING, J. (1995). Temporal and spatial patterns of opsin gene expression in zebrafish (danio rerio). *Vis. Neuroscience* 12: 895-906.

RODIECK, R.W. (1973). *The vertebrate retina. Principles of structure and function.* W. H. Freeman & Co, San Francisco, California.

ROSENBAUM, J.L., COLE, D.G. and DIENER, D.R. (1999). Intraflagellar transport: The eyes have it. *J Cell Biol* 144: 385-8.

ROSENBAUM, J.L. and WITMAN, G.B. (2002). Intraflagellar transport. *Nat Rev Mol Cell Biol* 3: 813-25.

SCHMITT, E.A. and DOWLING, J.E. (1999). Early retinal development in the zebrafish, danio rerio: Light and electron microscopic analyses. *J Comp Neurol* 404: 515-36.

SCHOLEY, J.M. (2003). Intraflagellar transport. *Annu Rev Cell Dev Biol* 19: 423-43.

SIGNOR, D., WEDAMAN, K.P., ROSE, L.S. and SCHOLEY, J.M. (1999). Two heteromeric kinesin complexes in chemosensory neurons and sensory cilia of caenorhabditis elegans. *Mol Biol Cell* 10: 345-60.

SUNG, C.H. and TAI, A.W. (2000). Rhodopsin trafficking and its role in retinal dystrophies. *Int Rev Cytol* 195: 215-67.

THISSE, C. and ZON, L.I. (2002). Organogenesis—heart and blood formation from the zebrafish point of view. *Science* 295: 457-62.

TRAVIS, G.H., SUTCLIFFE, J.G. and BOK, D. (1991). The retinal degeneration slow (rds) gene product is a photoreceptor disc membrane-associated glycoprotein. *Neuron* 6: 61-70.

TSUJIKAWA, M. and MALICKI, J. (2004). Intraflagellar transport genes are essential for differentiation and survival of vertebrate sensory neurons. *Neuron* 42: 703-716.

VIHTELIC, T.S., DORO, C.J. and HYDE, D.R. (1999). Cloning and characterization of six zebrafish photoreceptor opsin cdnas and immunolocalization of their corresponding proteins. *Vis. Neurosci.* 16: 571-585.

WALTHER, Z., VASHISHTHA, M. and HALL, J.L. (1994). The chlamydomonas fla10 gene encodes a novel kinesin-homologous protein. *J Cell Biol* 126: 175-88.

WEI, X., CHENG, Y., SHI, X., NELSLON, R. and HYDE, D.R. (2004). The zebrafish pard3 homolog is required for separation of the eye fields and retinal lamination. *Dev Biol.*

WEI, X. and MALICKI, J. (2002). Nagie oko, encoding a maguk-family protein, is essential for cellular patterning of the retina. *Nature Genetics* 31: 150-157.

WODARZ, A., HINZ, U., ENGELBERT, M. and KNUST, E. (1995). Expression of crumbs confers apical character on plasma membrane domains of ectodermal epithelia of drosophila. *Cell* 82: 67-76.

YOUNG, R.W. (1967). The renewal of photoreceptor cell outer segments. *J Cell Biol* 33: 61-72.

Neuron, Vol. 42, 703–716, June 10, 2004, Copyright ©2004 by Cell Press

Intraflagellar Transport Genes Are Essential for Differentiation and Survival of Vertebrate Sensory Neurons

Motokazu Tsujikawa and Jarema Malicki*
Department of Ophthalmology
Harvard Medical School
243 Charles Street
Boston, Massachusetts 02110

Summary

Cilia play diverse roles in vertebrate and invertebrate sensory neurons. We show that a mutation of the zebrafish *oval* (*ovl*) locus affects a component of the ciliary transport (IFT) mechanism, the IFT88 polypeptide. In mutant retina, cilia are generated but not maintained, producing the absence of photoreceptor outer segments. A loss of cilia also occurs in auditory hair cells and olfactory sensory neurons. In all three sense organs, cilia defects are followed by degeneration of sensory cells. Similar phenotypes are induced by the absence of the IFT complex B polypeptides, *ift52* and *ift57*, but not by the loss of complex A protein, *ift140*. The degeneration of mutant photoreceptor cells is caused, at least partially, by the ectopic accumulation of opsins. These studies reveal an essential role for IFT genes in vertebrate sensory neurons and implicate the molecular components of intraflagellar transport in degenerative disorders of these cells.

Introduction

Eukaryotic cilia and flagella are highly conserved organelles that project from the surfaces of many cells. Sensory neurons of vertebrates and invertebrates display well-developed cilia that in some cases appear necessary for the formation of specialized detector structures, such as photoreceptor outer segments in the vertebrate eye. Photoreceptor cells in the eye, hair cells of the auditory system, and olfactory sensory neurons all feature prominent cilia. The importance of cilia in photoreceptor cells is particularly obvious. The vertebrate photoreceptor cell utilizes as many as 10^9 visual pigment molecules, which are synthesized in the cell body and from there transported into the outer segment along the photoreceptor connecting cilium (Pugh and Lamb, 2000). Although in a smaller quantity, olfactory cilia also contain olfactory receptors and other elements of signal transduction cascade (Leinders-Zufall et al., 1997; reviewed in Zufall and Leinders-Zufall, 2000). The role of hair cell cilia, kinocilia, in auditory perception is less clear (Hudspeth and Jacobs, 1979). As cilia are devoid of protein synthesis, the formation of cilliary axoneme and structures that derive from cilia, such as photoreceptor outer segments, requires the translocation of proteins from the cytoplasm along the cilium. This movement is thought to be mediated by intraflagellar transport (IFT) particles (reviewed in Rosenbaum et al., 1999; Rosenbaum and Witman, 2002). Proteins required in cilia are assembled into IFT particles at the cilium base, where they also associate with kinesin, a motor protein complex that mediates their anterograde transport along the axoneme.

The IFT particle has been studied in diverse species. Experiments in *Chlamydomonas* identified at least 17 proteins that contribute to its structure. Based on biochemical studies, these polypeptides are believed to assemble into two complexes, named A and B (Cole et al., 1998). Interestingly, the same genes that form the *Chlamydomonas* IFT particle have been identified independently in *C. elegans* during genetic screens for defects in chemosensory neurons, and they function in cilia of these cells (Perkins et al., 1986). The protein products of the *C. elegans osm-1, osm-5, osm-6, che-13, che-11*, and *daf-10* are homologs of *Chlamydomonas IFT172, IFT88, IF52, IFT57, IFT140*, and *IFT122*, respectively (reviewed in Rosenbaum and Witman, 2002). IFT particle mutants have also been identified in the mouse and *Drosophila* (Kernan et al., 1994; Moyer et al., 1994). The vertebrate IFT mutations are mainly associated with deformities in early embryogenesis and kidney development, while invertebrate genetic defects mostly cause sensory neuron abnormalities that result in a variety of aberrant behaviors (Han et al., 2003; Haycraft et al., 2001; Murcia et al., 2000; Pazour et al., 2000; Qin et al., 2001). The function of IFT genes in vertebrate neurons, however, has remained largely obscure.

Mutations in the zebrafish *oval* (*ovl*) locus cause photoreceptor loss and kidney cysts (Doerre and Malicki, 2002). We present evidence that *ovl* encodes a homolog of the intraflagellar particle component, *IFT88*. *ovl* function is necessary for the maintenance but not for the initial assembly of sensory cell cilia. Consistent with this observation, photoreceptor outer segments are absent in *ovl* null animals. Unexpectedly, in the absence of *ovl* function, sensory cells degenerate in the visual, auditory, and olfactory systems. To further investigate the role of intraflagellar transport in sensory neurons, we identified zebrafish homologs of other IFT particle components: *ift52*, *ift57*, and *ift140*. Knockdown experiments indicate that similar to *ovl*/*ift88*, other complex B proteins are also essential for cilia maintenance and sensory neuron survival: cilia are resorbed in *ift52* and *ift57* knockdown animals, and subsequently all types of sensory cells that we have investigated so far degenerate. *ift140*, a member of the IFT complex A, produces a much weaker phenotype. These studies demonstrate the essential role of IFT genes in the differentiation and the survival of vertebrate sensory neurons.

Results

Molecular Characterization of the *oval* Locus

To determine the molecular structure of the *oval* locus, we first mapped it to the centromeric region of linkage group 9 (LG9) using half-tetrad analysis (Streisinger et al., 1986). Subsequent high-resolution linkage analysis using an F2 mapping panel showed 13 recombination

*Correspondence: jarema_malicki@meei.harvard.edu